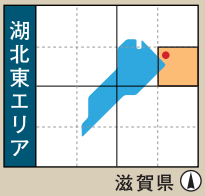
名勝
県指定

池氏庭園（いけしていえん）

浅井町南池　昭和60年3月29日指定



池氏は元は、近江源氏佐々木氏の流れをくむ土豪です。江戸時代前期に造られたと考えられるこの庭も、武家の気運をよく表した豪華な造りとなっています。地方の民家に残された古庭としてよく管理されており、往時の気分を今に伝えています。

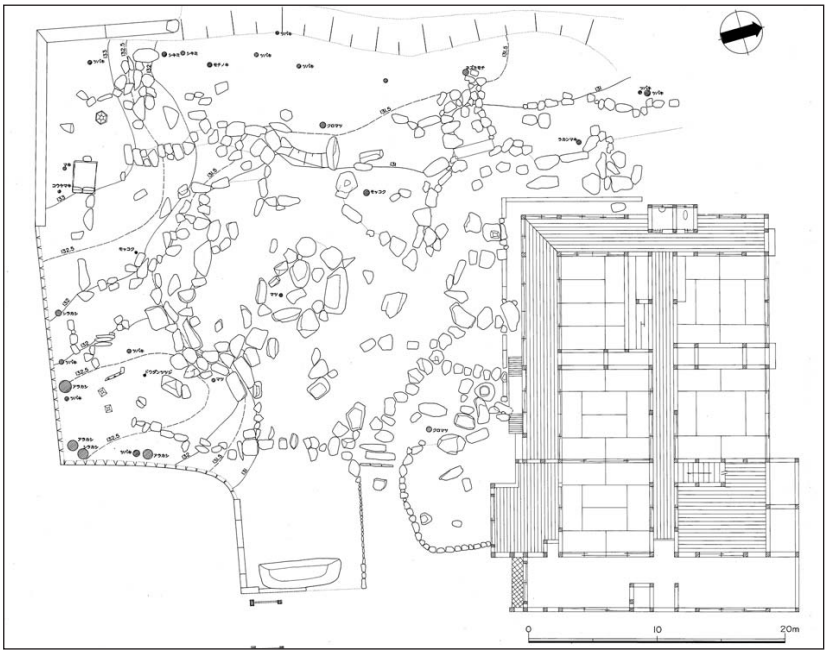
当時のできごと	
1689年	松尾芭蕉が「奥の細道」を著す
1695年	金銀貨改鋳
1701年	松の廊下事件



池氏庭園

池氏と庭園

池氏は、近江源氏佐々木氏7代の嫡流経方の4男行実を祖とする、伊庭氏の一門で、伊庭新介の長男が、南池村の名門池掃部の名跡を譲り受けたことに始まると言われています。この庭は、その後裔である池木龍の作庭です。木龍は伊山軒白雲堂椿原斎と号し、詩歌、作庭に巧みであったと伝えられています。池家に残る元禄8年（1695）の『椿原斎場記』には「竜鼻山前ニ仮峰ヲ築ク藤梅松樹枝ヲ交エテ濃シ」とあることから、この頃には庭はできあがっていたようです。



池氏庭園測量図



池氏庭園

庭園について

庭園は、書院の南に位置する枯山水で、背後を築山とし左奥には枯滝を組み、立石を配し、竹生島弁天を祀る小祠を安置します。その前面の平地（枯池）には蓬莱山を意味する亀島が設けられ、右手前の入り込みには反りをつけた切石橋を渡すなど多彩な景観を見せています。多数の石を用いながら全体としてよくまとまっており、石組も豪華で、江戸時代前期の姿をよくとどめています。

この庭の構成は、左右の均整のとれた地割りや、多数の石を配する点など、米原町青岸寺庭園（学習シートNo.087）の構成と非常によく似ていることが指摘されています。

関連する文化財

県名勝孤蓬庵庭園（浅井町）	学習シートNo.102
県名勝理覚院庭園（高月町）	学習シートNo.104
青岸寺庭園（米原町）	学習シートNo.087

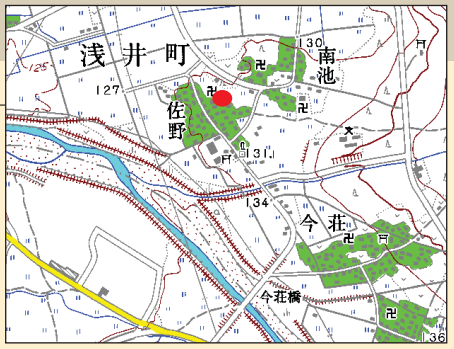
もっと深く知りたい

お市の里浅井町歴史民俗資料館　☎0749-74-0101　東浅井郡浅井町大依528

※拝観に際しては、事前に確認をお願いします

池氏庭園へのアクセス

JR北陸本線　長浜駅下車
北陸自動車道　長浜インター



【参考文献】〔滋賀県の庭園1～3〕滋賀県教育委員会　〔日本庭園史体系〕社会思想社

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月